

# 第10回教育委員会定例会会議録

平成24年10月23日（火）

場所：国立市役所教育委員会室

出席委員	委員	長	佐藤路子
	委員長職務代理者		山口直樹
	委員		嵐山光三郎
	委員		城所久恵
	教育長		是松昭一
出席職員	教育次長		兼松忠雄
	教育庶務課長		宮崎宏一
	学校指導課長		渡辺秀貴
	生涯学習課長		津田智宏
	国体推進担当課長		小林孝司
	給食センター所長		村山幸浩
	公民館長		石田進
	図書館長		森永正
	指導主事		市川晃司
	指導主事		荒西岳広

国立市教育委員会



○【佐藤委員長】 皆様、こんにちは。先々週、国体の視察で伺った岐阜県土岐市では、イチョウの葉が色づき始め、中には銀杏を拾っている方も見かけました。国立市内でもキンモクセイの甘い香りが漂い始め、秋の深まりを感じます。

これから平成24年第10回教育委員会定例会を開催します。

本日の会議録署名委員を嵐山委員にお願いします。よろしいでしょうか。

○【嵐山委員】 はい。

○【佐藤委員長】 本日の審議案件のうち、議案第22号「第29期国立市公民館運営審議会委員の委嘱について」、議案第23号「第19期国立市図書館協議会委員の委嘱について」、議案第24号「教育委員会職員の人事異動について」、行政報告第16号「教育委員会職員の人事異動について」は人事案件です。秘密会としますが、よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)



### ○議題(1) 教育長報告

○【佐藤委員長】 それでは、議事に入ります。初めに教育長報告をお受けいたします。

是松教育長、お願いします。

○【是松教育長】 それでは、9月25日から10月22日の間の教育委員会活動の主な事業等についてご報告申し上げます。

9月26日水曜日に、市教委訪問で三中を訪問いたしました。

9月27日木曜日、給食センターの運営審議会並びにスポーツ推進委員の定例会を開催しております。

9月29日土曜日に、三小、四小、六小の各小学校において運動会が実施されました。

10月1日月曜日、この日から10月5日まで平成23年度の国立市の各会計予算の決算特別委員会が開催されております。一般会計並びに国民健康保険特別会計、下水道事業特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、いずれも承認されたところでございます。

10月2日火曜日、給食センターの献立作成委員会を開催いたしました。

10月3日水曜日には、校長会を開催いたしました。

10月5日金曜日に、6月に田植えをしました小学校5年生の稲作体験授業として、稲刈りを行ったところでございます。

10月6日土曜日、道徳授業地区公開講座が、一中で開催されました。

同日、五小と七小で運動会が実施されております。

10月7日日曜日には、先ほど佐藤委員長からもお話がありましたが、国体の実行委員会で、岐阜国体のウエイトリフティング競技の開催状況を見学するため、土岐市へ赴き、視察したところでございます。

同日、国立市においては、国立市市民文化祭が開催されております。

10月8日月曜日、第23回の国立ウォーキングが実施されました。約750人の方々が参加されて、谷保第三公園から出発し、国立市内をウォーキングいたしました。こちらのウォーキングにつきましては、来年の国体で、デモンストレーション事業として開催される予定でございます。

10月9日火曜日に、公民館の運営審議会を開催いたしました。

10月10日水曜日には、市教委訪問で八小を訪問いたしました。

同日、東京都市教育長会が開催されております。

10月11日木曜日、小学校の特別支援学級の合同宿泊事業が、山梨県立ゆずりはら青少年自然の里で実施されております。翌日、12日までの1泊2日ということで実施されました。

同日、第1回の子ども読書活動推進計画策定委員会を開催しております。

10月12日金曜日に、副校長会を開催いたしました。

同日、東京都市町村教育委員会連合会の管外視察がございました。視察先は沼津市教育委員会でございます。佐藤委員長と山口委員、宮崎教育庶務課長が参加しております。

10月13日土曜日に、道徳授業地区公開講座が二小で開催されました。

同日は、国立市環境フェスタの日でありまして、各小学校も環境学習の成果を、芸術小ホールの2階ブースに展示したところでございます。

10月15日月曜日に、給食センターの物資納入登録業者選定委員会を開催いたしました。

10月16日火曜日に、一中の合唱コンクールが開催されております。

同日夜、社会教育委員の会を開催いたしました。

10月17日水曜日に、二中の合唱コンクールが行われました。

同日、一小を市教委訪問しております。

10月18日木曜日、スポーツ推進委員定例会を開催いたしました。

10月19日金曜日に、就学時健康診断を開始いたしました。こちらは、来年度小学校に入学する学齢児童に対する健康診断でございます。この日より順次、小学校全8校で行ってまいります。最終日が11月2日の予定でございます。

10月20日土曜日に、社会教育委員の会第2ブロック研修会を、国立市が幹事市として、国立駅前のせきやビルESOLAホールで開催しております。立川市、昭島市、国分寺市、東大和市、並びに国立市の各社会教育委員の皆様がご参集いたしました。

教育長報告は、以上でございます。

○【佐藤委員長】 教育長報告をいただきました。ご意見、ご感想などございましたらお願いします。山口委員。

○【山口委員】 秋に入って、さまざまな行事がめじろ押しで、運動会などもありました。私は、運動会には出られなかったのですが、公開講座と3校の学校訪問をさせていただいて、それぞれの学校での感想なのですが、先生方が一生懸命授業をされて、また、学校ごとの特徴もよく出ていて、いい教育をされているという感じを持ちました。

それから、佐藤委員長と一緒に参加いたしました。10月12日の管外視察では、沼津市に行かせていただいて、そちらでは小中一貫の教育を、こちらはこれからつくるということでしたが、学校のことを、そして中高一貫は、既に行っているということで、小学校と中学校では、6年と3年を足しますと9年間となりますけれども、そちらを3つに分けた教育体制を行っていくということを伺って、実際はどのようになるのかと思いました。また、実際に動き始めてからどのようになるのかを見ていくのも、今後の参考になるのではないかと思います。

それから、沼津市は海のすぐ近くですので、防災訓練、津波からの避難という訓練を毎月1回、不定期で、予告なしに行っていて、子どもたちはしっかり動けるようになってきているという話を伺いました。私たちが避難路を歩かせていただいたのですが、少し急な坂道で、一生懸命登らなければいけないと感じながら歩きました。

それから、質問といいますか状況報告をしていただければと思うのですが、先ほど社会教育委員の会の研修があったようですが、社会教育委員の会の話し合いが進んでいて、答申に向けてかなり近づいてきているのではないかと思いますので、現在の状況など、簡単に結構ですので、ご報告いただければと思います。

○【佐藤委員長】 それでは、社会教育委員の会の答申も含めた状況について、津田生涯学習課長、お願いします。

○【津田生涯学習課長】 社会教育委員の会の現状ですけれども、平成25年4月末までが今期委員の任期となっております。現在、3月末に答申しようと、章立ての検討をしている最中です。先ほどご説明がありました10月20日の研修会は、今回の諮問にもかかわるような内容で、学校支援の方策についてということで、地域で育む地域の連携というテーマで、学芸大学の松田先生を講師にお招きして、発表をいただいたということでもあります。また、各市の社会教育委員の会の皆様に集まってきたまして、それぞれの市、地域ごとでどのようなことをされているのか、どのようなことをしていけばよいのかという内容のブロック研修会も行いました。

以上でございます。

○【佐藤委員長】 よろしいでしょうか。

○【山口委員】 はい。

○【佐藤委員長】 ほかにいかがでしょうか。

城所委員。

○【城所委員】 1カ月間の報告をしていただいて、これほどたくさんの方があったのだと思い、昔のことも感じてしまいました。

六小、五小、七小の運動会を見せていただいたのですけれども、高学年の子どもたちの力を非常に感じて、その姿を見上げるという下の学年の子どもたちの姿勢がどこの学校でもありました。上の学年の子どもたちを見て、下の学年の子どもたちが成長して、自分たちも高学年になったらという気持ちで見ているというような様子でした。また、暑い日や雨が降ったりした日などがあったと思いますが、子どもたちをサポートして支えようという先生方の姿を見せていただいて、感動という言葉でまとめてしまうと平たくなってしまいますのですけれども、学校として、チームとしていい場面を見せていただいたという感想を持ちました。

それから、一中、二中の合唱コンクールを見せていただいたのですけれども、1年生から3年生のいずれのクラスもほとんど差がなく、さぞかし点数をつけて、金賞、銀賞とするにはご苦労されるであろうという感じでした。学校訪問のときに教室を見せていただくと、時々、少し元気な子がいたり、そういう子を見受けたりするのですけれども、合唱コンクールの場面では全くそのようなところがなくて、クラスで一体になって声をつむいでいくという力を強く感じました。前の席で見せていただいたので、学年合唱の際、後ろから声が迫ってくるのですけれども、両校とも、やはり3年生の力が一番で、聞いている私たちが鳥肌が立つといいますか、後ろを振り返って見ると、1年生も口をあけて、3年生を仰ぎ見ている、何か卒業式の雰囲気のような感じを受けました。

合唱コンクールも、先生方がサポートをしていて、一中の各クラスの一言ずつの説明に、「先生、行って来るよ」などというメッセージを、全てのクラスが入っていて、先生が生徒たちとハイタッチをするように送り出したり、二中も、先生が手に汗握る感じで自分の学年を見ていたり、そういうことが学校の中で行われているのだということを感じさせていただいて、先ほどもお話しいたしました。

が、感動という言葉にまとめてしまうと、とても平たくなってしまうのですけれども、温かい場面を見せていただいたと思いました。

それから、土岐市へ国体の視察に行かせていただいて、当日の臨場感あふれる雰囲気を見させていただきました。先に行かれていた小林国体推進担当課長が、会場内についていろいろと説明していただいたので、とてもスムーズに見ることができました。また、ボランティアの方々に、大変気持ちよく迎えていただいて、会場じゅうとても温かい雰囲気で、とても清潔な感じでした。そのような中で、選手の方々が集中して競技をされている姿を見せていただいたので、国立市でも生かせるところがあると感じ、私もお手伝いさせていただきたいと思いました。

秋はさまざまな行事などがあり、いろいろと見せていただいて、とても充実した機会を持つことができました。ありがとうございました。

○【佐藤委員長】 ほかにいかがでしょうか。

国体の準備状況については、後ほど報告をしていただくようですので、よろしくお願いたします。

私も参加した行事などについて、感想をお話したいと思います。運動会は、小学校5校で予定どおり無事に行われて、とてもよかったと思います。子どもたちは、個人、団体の競技、それから表現など全ての種目に全力投球でした。一生懸命な姿、何かに挑戦する姿は、見ている側も思わず応援したくなるものだと、改めて感じました。系の活動もとても機敏で、積極的に動いていましたし、開会式や閉会式でも、いろいろな役割を立派に果たしていました。

応援も、応援団を中心に最初から最後まで元気いっぱい、テンションを下げることなく、自分たちから進んで取り組んでいて、すばらしいと思いました。

ある学校では、組体操にミュージカルの要素を取り入れていました。指先や視線など、非常に細かいところまで指導されていると思いました。さまざまな動きを取り入れていて、表現力も見事でした。組体操が始まる前に大きな円陣をつくって、先生と子どもたちが一緒になってかけ声をかけていた場面もありました。小学校最後の運動会にかける先生と子どもたちの意気込みが、伝わってくるようで、とても胸を打たれました。

また、ある学校では、組体操を終えた後に、4～5人ずつのグループになって、観客席に向かってメッセージを伝え、ポーズを決めていました。「やった」という喜びの声も多かったのですが、それ以上に多かったのが、「ありがとうございました」という感謝の声でした。また、「この学校でよかった」、「この学校が最高、6年間本当に楽しかった」という声も多く聞かれました。まだ卒業ではないのですけれども、子どもたちの中では達成感にあふれていたもので、きっとそのような表現になったのではないかと思います。

メッセージの中に、「今までとてもつらくて苦しい練習だったけれども」という言葉もありました。先生方もご苦労されたのではないかと思いますけれども、子どもたちの喜びにあふれた表情と感謝の声を聞いて、これまでのご苦労が吹き飛ぶような、先生方にとっても最高の瞬間だったのではないかと思います。

先ほど城所委員が、「感動という一言でまとめるには」とおっしゃった気持ちが、とてもよくわかります。私もとても心が揺さぶられました。

また、そちらの学校では、ピラミッドの完成が最後の見せ場でしたけれども、ピラミッドが無事完成したときに、一番下の列でみんなを支えていた1人の女子児童が感極まって泣きだしました。その後、友達と顔を見合わせて、すぐに笑顔になったのですけれども、その涙にも心が揺さぶられました。

下の方で支えていた子どもたち、上に立って無事役目を果たした子どもたちそれぞれに涙あり、笑顔もありで、本当に子どもたちにとって貴重な経験をした運動会になったのではないかと思います。

各校の運動会を見せていただいて、運動経験にとどまらず、やはり生活指導、また授業規律、全ての積み重ねが運動会にあらわれていました。日々の教育活動の集大成として大成功に終わった運動会を実施することができて、本当によかったと思いました。

大成功ではありましたが、子どもたちの新たな課題や、指導の面でもさまざまな課題も見えてきたのではないかと思います。下半期、ぜひ改善に向けて努力をしていただきたいと思います。

それから、NHK学園の50周年の式典がありまして、参加をさせていただきました。50周年ということで、とても盛大に行われました。高校生から80代までの方がともに学んでいるという映像も紹介されました。さまざまな人生や歩みがあり、またいろいろな学びがあり、年齢を問わず常に向学の志を持って学んでいる方がいらっしゃることを、市内の児童や生徒が知る機会を作ることができたらすばらしいのではないかと思います。また、このことを通して、地域の資源の活用ということもこれから視野に入れて、さまざまな情報を集めながら、事業として進めていけたらということも感じました。

それから、中学校の学校公開で、時間にして10分位でしたが、3年生が家庭科の授業で消費生活を扱っている場面を見せていただきました。無店舗販売という言葉が出て、具体的にも、どのようなものが考えられますかということで、自動販売機や移動販売、それから通信販売やネット通販などさまざまな声が上がっていました。先生が、「通信販売にはアマゾンなどもあります、使ったことある人はいますか」と質問したところ、4分の1ぐらいの生徒が手を挙げていました。私の家族は利用することがありますけれども、私自身はなかったこともあって、子どもたちの利用が想像以上に多いと思いましたし、子どもたちを取り巻く現実の一端を見た思いがしました。今、学校において、体系的に消費者教育を進めていくことが求められていますけれども、限られた授業時数の中でカリキュラムを組むことは大変難しいという声や条件整備が必要であるとか、体制づくりが必要であるなど、さまざまな声があります。消費者とか消費者教育といいますと、子どもたちにとっては非常に固いイメージがあるかも知れませんが、授業の中で先生が少し話題を掘り下げる、あるいは何か身近な事例や疑問を投げかけることで、ぐっと身近な問題になるのではと感じました。

それから、一中の合唱コンクールに参加させていただいて、1年生のとても力強く、美しい歌声に感動しました。また、一中では開会前に担当の先生から、万が一災害が起こった場合の注意ということでお話がありました。行事の中でも、防災に対する取り組み、あるいは意識をしっかりと徹底させていくということが、防災教育の日常化を図る上で必要ではないかと思います。

それから、二中ではリハーサルを見せていただきました。子どもたちは、心の中にとっても豊かな世界を持っていて、表現するすべもしっかり持ち合わせているということ、改めて感じました。

先月、職場体験の話がいろいろと出ましたけれども、ある中学校では職場体験の前と後で、子どもたちの学校生活や行事への取り組みの姿勢が大きく変わったというとてもうれしいお話を伺いました。これほど成長したのか、すばらしいと先生が思わず声をかけたくなったというお話を伺ったのですけれども、職場体験先で一人前の社会人として扱われたり、社会の厳しさや仕事の厳しさの一端を、感じとったり、あるいは学校、学年、クラス、部活動と、ある意味、非常に限られた世界の中で生活している子どもたちが、全く別の環境で生活をする、あるいはさまざまな経験を積むという場が必要なのではないかと思います。職場体験先の方には受け入れていただいたお礼とともに、子

どもたちの成長した姿も伝えていただく機会があれば、うれしいと思います。

それから、沼津市の視察ですけれども、道中のバスの中で、それぞれの自治体の特徴的な取り組みについて話す機会がありました。多摩地域の3分の1ぐらいの自治体が、同じバスだったと思いますけれども、例えば、特別支援教育課を新設した自治体、ICT活用推進室をつくりましたという自治体、あるいは医療・福祉・保健の連絡会を持ち始めましたという自治体、それから言語教育、グローバル化に重点を置いて、中学生の英語スピーチコンテストを初めて開催しました等々、さまざまなお話がありました。

また、沼津市の教育委員会も、規模は国立市よりとても大きいですが、教育企画室、学校管理課、学校教育課に加えて、平成23年4月1日に教職員研修センターを開設したということで、学校教育にかかわる諸問題の調査研究、教育施策への展開、子どもたちにかかわる方たち全員、用務の方や事務の方なども対象とする研修の実施機関として、大いに活用されているというお話がありました。さらに、沼津市では、平成21年に名称が変わったそうですけれども、「がんばる学校応援事業」を、平成17年から始めていて、今年度は交付額が全体で1,400万円だそうです、とても羨ましいと思いました。各校で3～4つの企画を出しているのです、1校で平均約30～70万円ということでしたけれども、そういった特色ある教育を、市として応援していますということでした。

先ほど防災の話が出ましたけれども、訪問した静浦小学校では、津波に対する備えに重点を置きつつ、同時に教育資源としての海にも注目をして、独自の海に関わる事業を進めていました。海は怖いだけではなくて、子どもたちにとって身近な自然の資源でもあるということを知ってほしいとの思いで、そのような事業に力を入れているということでした。

少し長くなりましたが、学校指導課に4点ほどお伺いしたいことがあります。1点目は、10月5日に行われた稲刈りでの子どもたちの様子をお伝えいただければと思います。

2点目は、今月教務主任会が行われたと思います。先月、渡辺学校指導課長から、校務の多忙化の改善を図る意味で、分掌の見直しなどについて話し合いますというお話がありました。現状や見直し点についてお話いただければと思います。

3点目ですが、来月11月は、ふれあい月間にあたると思います。東京都でも、いじめ防止強化月間として取り組んでいると思いますので、国立市としての各校の取り組みなどがありましたら、お話をいただきたいと思います。

それから最後に、来月、教育フォーラムの第2回目が開催されますので、そちらの内容について紹介いただければと思いますので、よろしくお願いします。

それでは、市川指導主事、お願いします。

**○【市川指導主事】** 稲刈りは、10月5日金曜日に、5年生が約500名参加して行われました。私も現地に行きましたけれども、その後学校からも報告がありまして、子どもたちの声は、教科書では機械を取り上げているのですが、機械を使わないと大変で、鎌の使い方が難しかったなどがありました。また、農家の方の思い、願いや苦勞がわかった。1粒1粒のお米を大切にしたいという感想が、一番多かったと聞いています。

学校は、社会や総合的な学習の時間で授業をしているのですが、田植えから稲刈りまでの途中経過がわからないので、担任が現地に行って写真をとって、時系列的に、年間をとおして掲示しているという学校もありましたので、そのような取り組みを他校にも広げていきたいと思っています。

2点目の教務主任会ですけれども、10月4日にありまして、校務改善について取り上げました。校



務改善を行うことで、何がよくなるのかと申しますと、時間ができて、最終的には子どもたちと向き合える時間を確保できるというところに落ちつくのではないかと考えています。

教務主任会では、まず私から校務改善の基本的な考え方や方法について説明をいたしました。その後、各学校に持ち寄っていただいた校務分掌組織図に基づいて、校務改善の工夫について、特にポイントだと捉えていることについて発表していただき、その後協議をするというような内容で行いました。具体的には、会議の時間をいかに縮小するか、教材費などの集金方法を見直した。また、通知表のデジタル化を進めたというような具体的な話も出て、他校の参考になったのではないかと考えています。先進的な取り組みをしている学校もありますので、今後は市教委でも敏感に察知して、他校に還元していきたいと思っています。

以上です。

○【佐藤委員長】 ありがとうございます。

続きまして、荒西指導主事、お願いします。

○【荒西指導主事】 ふれあい月間についてお答えします。ご存じのことだと思いますが、いじめ、不登校等の問題に対して、継続的な解決のための取り組みを進めるという必要性から、東京都が、例年2～3回、ふれあい月間と題した取り組みを行っているところです。ふれあい月間の趣旨は、各学校が、いじめ、不登校、暴力行為等への取組状況の総点検を行うということ、それから問題行動の未然防止や解決に向けた取り組みを実施するということです。具体的にどのような取り組みをしているかと申しますと、まず道徳の時間に各クラスが共通して、思いやりや友情をテーマとした授業を実施したり、アンケート調査や面接、観察等によりいじめの実態を把握する、それを機会に服装、持ち物、掲示物や机の落書きなどの点検を、これまで以上に、入念に行う、全校であいさつ運動に取り組む、また生徒会がいじめ防止のために呼びかけを行う、教員向けにいじめの未然防止や解決に向けた対応についての研修会を実施するなどがございます。

なお、取り組みの状況や把握した実態等は、市教委に報告されているところです。大枠といたしましては、今年度も例年と同じように行われる予定となっております。

以上です。

○【佐藤委員長】 ありがとうございます。

では、渡辺学校指導課長。

○【渡辺学校指導課長】 それでは、4点目の教育フォーラムの状況につきましてお話をさせていただきます。11月12日の月曜日、3時から、芸術小ホールで開催することを予定しております。年度当初は、基本的な生活習慣と学力・体力の向上というテーマを予定していたのですが、今、ふれあい月間についての話にもありましたように、都内でもいじめを苦にした中学生の自殺等が起きている状況もあり、本市におきましても、児童・生徒の人間関係調整力の低下ということが課題になっておりますので、今回はいじめの問題を取り上げることにいたしました。子どもたちの人間関係調整能力を養うには、周りの子どもたちの成長にかかわる大人の責任と役割はどうあるべきか、学校、保護者の方、あるいは学識経験者の方等々、パネルディスカッション的な形で意見交流をし、会場にお集まりの方々と、大人として心しなければならないことについて共通認識するようなフォーラムにしたいと、今、計画を進めているところです。

以上です。

○【佐藤委員長】 それぞれ具体的に取り組んでいただいて、ありがとうございます。

先ほど市川指導主事からのお話にありました学校での取り組みは、私もすばらしいと思いました。実際に体験できれば一番いいのですが、授業時数や移動時間などで厳しい状況ですので、田植えから稲刈りまでの途中経過を、子どもたちに伝える具体的な取り組みは、とてもありがたいと思います。

それから、ふれあい月間についてですが、いじめについて申しますと、疑わしい事例も含めて、今後一つ一つ丁寧な対応をお願いしたいと思います。また、いじめに関するアンケートも、これからも実施すると思います。発達段階や子どもによっては、積極的に記入しない場合もあるかと思いますが、ただし、記入する、しないにかかわらず、学校として、なぜこのようなアンケートを実施するのか、また、先生の思い、例えばクラスの中でいじめのない学級、あるいは違いを認め合ういい関係を築いていきたいというような思いを言葉にして、その都度子どもたちに伝えてほしいと思います。ふれあい月間では、そうした取り組みもよろしくをお願いしたいと思います。

また、教育フォーラムでは、いじめの問題を取り上げるということで、さまざまなご意見が出るかと思いますが、大事な問題ですので、前向きに取り組んでいきたいと思っています。

ほかにはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)



## ○議題(2) 議案第21号 平成24年度教育費(12月)補正予算の提出について

○【佐藤委員長】 よろしければ次に移ります。

議案第21号、平成24年度教育費(12月)補正予算案の提出についてを議題といたします。

宮崎教育庶務課長、お願いします。

○【宮崎教育庶務課長】 それでは、議案第21号、平成24年度教育費(12月)補正予算案の提出についてご説明申し上げます。本議案につきましては、市議会第4回定例会に提案するため、平成24年度教育費補正予算案を市財政当局へ提出したいので、提案するものでございます。

補正予算案の内容でございます。次の1ページをごらんください。初めに歳入でございます。款13国庫支出金、項2国庫補助金、目4教育費国庫補助金、節6社会教育費補助金、細節1文化財保護事業費補助金でございますが、遺跡調査件数の増により、25万円を増額するものでございます。

次に、款14都支出金、項2都補助金、目7教育費都補助金、節4社会教育費補助金につきまして、細節1文化財保護事業費補助金では、国庫支出金と同様の理由から、12万5,000円を増額するほか、細節3国民体育大会競技施設整備費補助金については、芸術小ホール舞台仮設・補強工事がなくなったことに伴い、1,373万3,000円を減額するものでございます。

以上、歳入につきましては、1,335万8,000円の減額でございます。

次の2ページをお開きください。歳出でございます。各予算科目の補正理由につきましては、ごらんいただいておりますように、決算見込み精査による補正、または各委託業務等の契約差金による補正がほとんどでございますので、主だったものにつきましてご説明させていただきます。

4ページをお開きください。項6社会教育費、目2文化財保護費、事務事業、文化財調査・活用に係る経費、節13委託料、細節19遺跡緊急発掘調査委託料につきまして、遺跡調査件数の増により、50万円を増額するものでございます。こちらの歳出補正に伴いまして、先ほど説明いたしました歳入の国庫支出金及び都支出金の増額をしているところでございます。

続きまして、項7社会体育費、目2社会体育事業費、事務事業、国民体育大会運営・施設整備事業に係る経費に関しまして、国体の開催期間が3日間から5日間に延長され、競技会場が2会場から1

会場になったことに伴い、節13委託料、細節10舞台仮設工事監理委託料について、58万8,000円を減額し、節15工事請負費、細節3芸小ホール舞台仮設・補強工事について、1,121万3,000円を減額するものでございます。こちらの歳出補正に伴いまして、先ほど歳入で説明いたしました都補助金の減額をしているところでございます。

以上、歳出につきましては、総額2,173万5,000円の減額をするものでございます。

平成24年度教育費（12月）補正予算案の内容は以上のとおりでございます。よろしくご審査のほどお願いいたします。

○【佐藤委員長】 説明が終わりました。ご質問、ご意見などございますか。

いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

○【佐藤委員長】 それでは採決に入ります。皆様、ご異議がないようですので可決でよろしいでしょうか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

○【佐藤委員長】 議案第21号、平成24年度教育費（12月）補正予算案の提出については可決といたします。



○議題（3） その他報告事項1） スポーツ祭東京2013リハーサル大会の準備状況について

○【佐藤委員長】 次に、その他報告事項に移ります。その他報告事項1、スポーツ祭東京2013リハーサル大会の準備状況について、小林国体推進担当課長、お願いいたします。

○【小林国体推進担当課長】 まず最初に、先ほど教育長報告にもありました、10月7日の岐阜県土岐市への国体の本大会の視察を、実行委員会も含めて34人で行いましたが、3連休の中日ということもありまして、行きに4時間半、帰りに6時間半、現地では昼食も含めて2時間半という慌ただしい視察となってしまいました。ご参加いただきました佐藤委員長、城所委員、お疲れさまでした。また、ありがとうございました。

それでは、進捗状況についてですが、主催者の日本ウエイトリフティング協会、主幹事である東京都ウエイトリフティング協会、東京都の実行委員会と、現在、運営面について連携をとりながら進めております。職員からなる実動部分といたしましては、お手元にありますスポーツ祭東京2013国立市実施本部設置要領に基づき、本部を10月16日に立ち上げました。

要領の別表1をごらんください。実施本部の組織図となります。市長を本部長として、副本部長、競技会場部長、それから事務局も加わり、5つの班を設置して運営していく予定です。第1回の実施本部会議を経て、全庁的に職員の協力を依頼いたしました。職員は、1日当たり約26人予定しております。それぞれの班の仕事につきましては、次のページ、別表2の2枚にまとめております。また、きょう現在のボランティアの状況ですが、個人の方が41名、団体といたしましては、案内部門でシルバー人材センター様、おもてなし部門で赤十字奉仕団様、式典部門で東京女子体育大学様、写真による記録部門で芸術小ホールの写真の講座をきっかけに結成されました一芸術様、それから、さまざまな部門で国立市体育協会様などにご協力をいただく予定であります。そして、先ほどお話をいたしました1日当たり職員が約26名、ボランティアが約50名と、5日間延べで、およそ380人で運営していくこととなります。

会場の設置工事につきましては、株式会社セレスポに決定しており、お手元にあります3枚の平面

図をもとに検討を重ねております。

1枚目が、体育館と芸術小ホールの1階部分の平面図になります。右下の体育館の事務所の反対側に、会場の受付案内所を設置する予定です。それから少し上にいきまして、体育館の第一体育室に、①、黒い四角になっておりますが、ウェイトリフティングの競技場になります。こちらで、選手がバーベルを持ち上げるということになります。その右側、②の競技会場は、一般の観覧席で、平地で300席を予定しております。それから少し左上、芸術小ホールの北西の角にアップ場と書いてありますが、選手の方々が試合に行く直前にウォームアップをする場所で、現在、予定どおり植栽の撤去が終わったところでございます。

そのほか、図面にありますように競技会場などの設置工事につきましては、11月12日から、体育館、芸術小ホールを貸し切りまして、11月12日以降、一気に行うことを予定しております。

それから、谷保第3公園ですが、競技期間中、駐車場として使用いたします。

協賛関係につきましては、ヤクルト様、ニッポー設備株式会社様から、ご協力をいただくことになっております。

出店につきましては、国立市商工会様、国立市観光まちづくり協会様、国立市商業協同組合様などに、ご協力をいただく予定です。また、先日、郵便局からも出店のお話をいただいたところです。

それから、地元の商店会のチラシやパンフレットなどに、スポーツ祭東京のロゴ等を掲載していただきまして、PRのご協力もいただいております。

そのほか、イベントでのPRにつきましては、先々週開催された環境フェスタ、それから昨日開催されたふれあいスポーツのつどいに、「ゆりーと」とともに参加いたしました。今後は、市民まつり、多摩川クリーンキャンペーンなどでのPRを予定しております。

また、市報の11月5日号にお知らせを載せるとともに、観光まちづくり協会様が出された、「くにたちおさんぽノート」をもとに国体版を作成して、11月5日号の市報と一緒に、全戸配付をする予定です。

さらに、国体会場を中心とした矢川駅、谷保駅周辺のグルメマップをつくりまして、リハーサル大会当日、全国からいらっしゃる選手の方々に、配付する予定であります。

それから、リハーサル大会の学校観戦希望を募ったところ、市内11校中5つの小学校から希望があり、初日、翌日の2日間で、約650人の児童が観戦をする予定となっております。

なお、市民の皆様を初め、多くの方々に、ぜひ会場まで足をお運びいただきまして、直接ごらんいただきたいと思っております。

以上、進捗状況の報告とさせていただきます。

○【佐藤委員長】 ご報告をいただきました。ご感想、ご意見などございましたらお願いします。

山口委員。

○【山口委員】 先日、芸術小ホールの裏を通った際、工事をしていて、何をしているのだろうと思っていましたので、アップ場をつくっているということがわかりました。

いよいよリハーサル大会の開催が近づいて、日程など、細かな詰めが必要になってくると思うのですけれども、今、お話を伺いながら、ぜひいい大会になるように、私たちが協力していこうと思いました。頑張ってください。

○【小林国体推進担当課長】 ありがとうございます。

○【佐藤委員長】 城所委員。

○【城所委員】 小学校から子どもたちが観戦に来られるようで、マイナーな競技と言われてはいるのですけれども、バーベルを持ち上げる前の一瞬の静けさや緊張感などを実際に体験してみるとは、貴重な体験になると思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○【小林国体推進担当課長】 はい。

○【佐藤委員長】 ほかにいかがでしょうか。

11月7日の視察につきましては、バスの中では弾丸ツアーとの声もありましたが、強行なスケジュールであることをご承知の上で、多くの方に参加していただきまして、とても心強く思いました。参加していただいた方に、心から感謝申し上げたいと思います。

実際の競技会場にも足を運びましたけれども、今、城所委員がおっしゃったように、テレビの映像では伝えることのできないバーベルの重量感、それから選手の息遣いも伝わってきました。ウエイトリフティング特有のかけ声や会場の雰囲気も堪能してまいりました。

私は、少しずつではありますが、興味を持ってウエイトリフティングを勉強してきましたので、リハーサル大会の開催をととても楽しみにしています。

開催される5日間を総勢380名の大所帯で頑張るとのことですので、現在、PRや準備等を着実に進めていただいていますけれども、これからもよろしくお願いいたします。

ほかによろしいでしょうか。

是松教育長、お願いします。

○【是松教育長】 ご報告を兼ねて、補足させていただきます。

10月14日の日曜日に、いわゆる祝勝会に当たるものですが、日本ウエイトリフティング協会主催のロンドンオリンピックの出場選手報告会が開催されました。ご存じかと思いますが、28年ぶりでしたか、ウエイトリフティングで日本選手がメダルを獲得した。女子選手として初めて、48キロ級の三宅宏実選手が銀メダルを獲得した。会場は上野の精養軒でありましたが、ウエイトリフティング協会においては多大なる成果ということで、さまざまな方が来られていました。壮行会ときには閑散としていたようで、報告会になったら大勢の人が集まってびっくりしていましたが、参加されたウエイトリフティング協会の方の中に、今回競技を主催する東京都ウエイトリフティング協会の方もいらっしゃっておりまして、大会関係者の方々も、国体に向けてとてもはずみがついたということで、かなり盛り上がっているようでございます。

女子選手が4名と男子選手が1名、合計5名がロンドンオリンピックに出場されたのですが、5名の選手全員が、次のリオデジャネイロオリンピックを目指すということで決意を述べておられました。国体に関しては、5名のうちの1名の選手ですが、アイドル的に人気のある選手で、53キロ級女子の金沢学院大学の八木かなえ選手とお話をいたしましたところ、「国立には出させていただきます」ということでした。11月21日に、八木選手が出場することになると思いますけれども、「国立に行くのを楽しみにしています」ということもおっしゃっていました。先ほど申しましたように、大会関係者の方々も、「今度、国立に行きます」ということで、とても盛り上がっていましたので、ロンドンオリンピックの成果を受けて、マイナーな競技ながらもはずみがついているということで、選手、関係者の方々もやる気がみなぎっておいりましたので、リハーサル大会を、ぜひ成功させたいと思っております。よろしくお願いいたします。

○【佐藤委員長】 ありがとうございます。

リハーサル大会の開催を、楽しみにしております。全員で応援に行きたいと思っておりますので、皆

様、よろしくお願ひいたします。

ほかにはよろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)



○議題(4) その他報告事項2) 市教委名義使用について(1件)

○【佐藤委員長】 なければ、その他報告事項2に移りたいと思います。

市教委名義使用について、津田生涯学習課長、お願ひします。

○【津田生涯学習課長】 では、お手元にあります平成24年度9月分後援等名義使用承認一覧をごらんください。今回は1件でございます。

多摩川ロードレース実行委員会主催の、「第50回三多摩スポーツ祭典‘12誰でも参加できる秋季ランニング大会」です。今大会は、市民・都民を対象にスポーツの普及と発展に寄与することを目的とした「誰でも参加できる」ロードレース大会で、2キロの種目は小学生、5キロ、10キロの種目は一般、壮年、女子のクラスで競い合います。開催日時は平成24年12月9日の午前9時半の2キロの部を皮切りに、国立市河川敷公園グラウンドからスタートします。参加に当たりましては、事前申し込みが必要で、定員は600名、参加費は一般、壮年、女子は3,000円、小学生は1,000円となっております。なお、昨年は11月13日に開催し、431名の参加があった旨の方向を受けております。

本件につきまして、教育委員会で審議をし、妥当と判断いたしましたので、こちらの名義使用については承認をいたしました。

以上です。

○【佐藤委員長】 報告をいただきました。ご感想、ご意見などございましたらお願ひします。

よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○【佐藤委員長】 なければ、秘密会以外の審議案件は全て終了しました。

ここで、次回の定例教育委員会の日程を決めておきます。どのようになりますか。

兼松教育次長。

○【兼松教育次長】 次回の教育委員会でございますが、平成24年第11回の定例教育委員会ということで、11月27日火曜日、午後2時から、会場は同じくこちらの教育委員会室とさせていただきます。よろしくお願ひします。

○【佐藤委員長】 それでは、次回の定例教育委員会は、11月27日火曜日、午後2時から、会場は教育委員室といたします。

傍聴の皆様、お疲れさまでございました。

午後2時52分閉会